

11 NOSAI全国連が 本市の収入保険の加入促進に対し感謝状を贈呈

全国農業共済組合連合会（NOSAI全国連）は、本市が農業者の経営安定のための収入保険制度の加入実績を大きく伸ばしたことに對して感謝状を贈呈しました。本市内での加入実績は、令和元年度の140件と比べて昨年度は261件と約2倍増（法人含む）。市内の全農業者に占める加入者の割合は52.7%で、県内での加入率34%と比べて高い加入率となっています。
NOSAI宮崎の山本唯仁組合長理事らが市役所を表敬訪問し、市長に感謝状を贈呈しました。市長は「今後も引き続き支援を行っていききたい」と話していました。



感謝状を贈呈した
NOSAI宮崎の山本組合長理事ら（左から2番目）

19 都井岬アウトドア施設の企業立地調印締結



協定を結んだ同社の庄司取締役（右から2番目）



グランピング施設イメージ



本市はアウトドア施設を運営する「株式会社SOLASITA（千葉県八千代市、塚田和徳代表取締役）」との企業立地協定の調印式を、都井岬観光交流館「パカラパカ」で行いました。本市が都井岬観光ホテル跡地の有効活用に向けて行った「都井岬再開発整備・運営事業者選定における公募型プロポーザル」で、同社を都井岬再開発整備・運営事業者として選定し、今回協定を締結。

事業は、都井岬でドーム型テントに宿泊しながら自然や食事を楽しむ「グランピング」施設の整備を計画。工事は2期にわたり行われ、1期目は今年の7月に着工。パカラパカ横にテント8棟や管理棟を設置し、来年4月に開業する予定です。2期目は開業の状況を踏まえて、イベント広場などを造る予定です。調印式は同社の庄司孝博取締役、市長らが出席。庄司取締役は「魅力あふれる都井岬の景観を楽しめる施設を運営し、積極的にPRしていきたい」と話していました。



飢肥城跡前でハイチーズ♪

21 福島高生がJR日南線を活用した 小学生とのふれあいイベント実施

福島高校の地域創生クラスの2年生（当時）は、JR日南線を活用した小学生とのふれあいイベント「福島高校生と行く貸切列車ふれあい旅」を行いました。

このイベントは、同線の利用促進につなげようと、昨年12月に同クラスが地域活性化策を研究する地域創生学の授業の一環で行ったイベント企画案の発表会で最優秀賞に輝いた企画を、本市の補助金を活用して実施。

当日は市内の小学6年生18人（当時）が参加し、貸切バスで道の駅「くしま」から日南市の飢肥へ出発。到着後は4班に分かれ、高校生誘導のもと飢肥城下町で会話を楽しみながら食べ歩きを満喫しました。帰りは貸切列車で飢肥駅から串間駅へ出発。車内では、同校のPR動画の鑑賞や生徒目線での学校の魅力紹介、クイズ大会などがあり、小学生は楽しみながらJR日南線の魅力を堪能していました。



食べ歩き引換券付マップを見ながら
お目当ての商品と引き換えていました



昼食は株式会社海山社中が開発中の地元食材
をふんだんに使用した駅弁が提供されました



列車内の装飾は高校生が手作りで準備

参加した清水颯空くんは「高校生と触れ合えてとても楽しかった。福島高校は楽しそうな学校だなと思って行きたくなった」と笑顔。イベントリーダーの田中夕音さんは「ほっとしている。これからの串間のためにもなったし、福島高校存続のためにもなったのではないかなと思う。3年生でも串間を盛り上げていきたい」と話していました。



興味津々に福島高校PR動画を
視聴する小学生



白熱したクイズ大会